

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成24年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/11大般若・大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7月下旬 第31回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- ※10/17~10/21 群曹青50周年記念大授戒会
- ※10月下旬 檀信徒参拝研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催

平成24年壬辰 住職年頭挨拶

謹賀新年

「前をのみ見つめながら歩く。登っていく



坂の上の青い天に、もし、一朶の白い雲が輝いているとすれば、そのみを見つめて坂を登ってゆかろう。」(『坂の上の雲』より 司馬遼太郎)

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、さまざまな天災人災が発生しました。特に、昨年3月11日に起きました東日本大震災により物故された方々のご冥福は勿論、被災された方々のお見舞いを申し上げます。拙僧も数度に亘り被災地に伺わせていただき、慰霊及び奉仕活動をさせていただきました。被災地の復旧復興を心から願っております。

しかしながら、原発事故に伴う放射能問題など、まだまだ今なお先行きは不透明でございます。それでも、我々は常に前へ前へ歩いていかななくてはなりません。今こそ「坂の上の雲」を目指した明治の先達に学び、ゆっくりとしっかりと、自身の速度で、坂を登り進んでいければと思っております。

本年も、何卒宜しくお願い申し上げます。合掌。

平成24年年回表

一周忌	平成二十三年	二十三回忌	平成二年
三回忌	平成二十二年	二十七回忌	昭和六十一年
七回忌	平成十八年	三十三回忌	昭和五十五年
十三回忌	平成十二年	五十回忌	昭和三十八年
十七回忌	平成八年	百回忌	大正二年

- ※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
- ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。(※但し、百回忌を除く)

仁叟寺通信-33-

「今秋に群馬県曹洞宗青年会創立50周年記念 報恩大授戒会が仁叟寺にて修行されます」



← 群馬県曹洞宗青年会
三十周年授戒会記念写真



本年平成24年は、群馬県曹洞宗青年会創立50周年となる節目の年です。群馬県曹洞宗青年会は、高崎市長松寺副住職・山端耕之老師を会長に、県内の四十歳以下の若手宗侶約80名が会員として日々活動をしております。50年の歴史の中、仁叟寺住職も会長を務め、龍源寺住職も現在役員として会に参加しております。

記念すべき年に当たり、会では数年前より50周年事業実行委員会を発足させ、準備を進めております。その記念事業の一つとして、大本山總持寺貫首・江川辰三大禪師猊下をお迎えし、報恩大授戒会を修行する事となりました。時期は、今秋10月17日（水）～21日（日）の5日間。会場は、仁叟寺となります。詳細は、後程ご通知いたしますので、宜しくお願ひ申し上げます。

なお、平成4年に修行されました群馬県曹洞宗青年会創立30周年記念授戒会（戒師・渡辺隆司 仁叟寺東堂【当時住職・県宗務所長】）も、仁叟寺を会場として執り行われましたので、ご存知の方もおられるかと思ひます。今回の戒師は、曹洞宗の大本山總持寺様より、大禪師猊下が見られる難値難遇の機会でございます。是非、この記念行事にご参加いただければと思ひます。

本堂入口用LED照明燈籠及び木製椅子20脚奉納



↑ 燈籠

当山本堂に、新たに木製椅子20脚が奉納されました。施主は、出牛裕一総代人（松田）です。亡父であります龍昌院房山常光居士位菩提供養の為にと、昨年7月18日の十三回忌法要に合わせて納めて下さいました。出牛総代人には、昨年の本山總持寺様への団参研修旅行の際にも、その記念として浄財を賜り、本堂入口のLED照明燈籠を設置申し上げました。感謝申し上げます。

最近、足腰の調子が芳しくなく、寺院での法事を遠慮される方もおられるとの声も聞きます。当山では、本堂入口の階段を一新し、段を増やし手摺を設置したり、駐車場や東司（お手洗い）の整備を進めて参りました。今回の御寄進により、更に足腰の悪い方でもお参りや御法事への参列が出来易く



↑ 本堂用椅子

秋の研修旅行に参加して 寄稿 齋藤利夫氏

秋の檀信徒研修旅行が昨年10月15日に開催されました。当日の予報が、雨・風と悪い中、幸いに朝には雨も上がってくれました。今回は仁叟寺住職夫人関係の慶事が重なり、仁叟寺住職のみの参加となり、檀信徒45名が東堂夫妻や副住職ほか皆様の見送りにて出発です。今年は北関東自動車道の開通もあり、栃木の名刹寺院を訪れる旅です。

まずは宇都宮市大谷町の大谷寺です。朝早くの到着で先に大谷平和観音様の参拝です。大谷寺では、洞穴に刻まれた千手観音のほか石仏群に感動です。

次は、大田原市黒羽田町の大雄寺です。総萱葺屋根の大伽藍を有する曹洞宗の古刹寺院です。寺名の読みは「だいおうじ」です。次の目的地途中、烏山にて昼食です。美味しいそば料理を戴きました。昼食後、益子焼センターにて楽しく買物散策です。



↑ 総萱葺屋根の本堂（大雄寺様）

↓ 参加された皆様方との集合記念写真



最後の参拝は、真岡市高田の専修寺です。浄土真宗の親鸞聖人開山の寺院で、諸堂は国の重要文化財に指定されております。御影堂の聖人像に感激です。

今回は各寺院共に、直接に住職様から寺の歴史などについてお話を聞く事ができ、感動いたしました。毎回企画して下さいる住職様、総代様方に感謝申し上げます。

渡辺恵津子二級詠範 宗務所講師拜命

← 管長辞令

龍源寺及び仁叟寺梅花講を指導しております渡辺恵津子仁叟寺住職夫人が、平成23年4月1日に、群馬県宗務所の梅花流講師を拜命いたしました。県内の梅花流詠讃歌の指導役となりました。

また現在、龍源寺及び仁叟寺講は入講者30名程。山内各種行事でのお唱えの他、県大会や全国大会、一泊講習会等も行っております。講員さんも皆、和気藹藹と月2回程の稽古に励んでおります。新規の講員さんも随時、募集中です。お気軽に、当山までご一報下さい。



行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

明けましておめでとうございます。昨年は、東日本大震災が発生し多数の方々方が被災しました。改めまして物故された方々のご冥福をお祈りいたします。今なお先行き不透明な原発事故に伴う放射能問題など、復興にはまだまだこれからの感がございます。

福島県南相馬市に、同じ修行時代の友人僧がおり、有志と共に数度に亘る被災地域での慰霊及び炊き出しやバザーといった奉仕活動をさせていただきました。ご協力賜りました方々に感謝申し上げます。詳細は前回の寺報やHPで報告申し上げます通りです。このような時だからこそ、自身の出来る事を出来る範囲でしっかりと行じていく事が大切だと思っております。

本年も宜しくお願い申し上げます。（龍）

